

空き店舗活用枠
市内の空き店舗などを活用して小売業、飲食業またはサービス業など

▼補助対象経費の3分の2以内(上限額80万円)
▼家賃の3分の1以内(上限額月2万円・年20万円(初年度のみ))

創業支援枠
市内で新たに創業し、これまで事業主としての経験がない人に対して、その経費の一部を補助します。

■対象者 次の要件を全て満たす人
①市税などの滞納がない人
②市内に住所を有する人、または補助完了日までに市内に住所を有する予定の人
③令和7年4月1日以降、補助完了日までに個人開業または会社の設立を行い、その代表者となる人
④特定創業支援事業(創業塾など)による支援を受けた人(創業までに修了し、証明書の交付を受けた人)

市では、市内で新たに事業を始め、人を応援するため、創業・開業に要する経費の一部を補助します。詳しくは、市ウェブサイトを確認してください。

大崎市ビジネスチャンス応援事業費補助金を活用しませんか

☎ 産業商工課商業振興担当 ☎ 7091



思い出の学びやに別れを告げました

2月14日、「大崎市立下伊場野小学校閉校式」を行いました。平成3年4月の開校以来、35年にわたり地域と共に歩みを重ねてきた学びやが、全校児童8人をはじめ、保護者や卒業生、地域住民など約200人に見守られながら、その歴史に幕を下ろしました。

高校生が斬新な発想でビジネスプランに挑戦しました

2月22日、「#高校生ビジネスアイデアコンテスト2025」を開催しました。このコンテストは、「将来起業したい」「地域を盛り上げたい」といった志を持つ高校生が事業提案を競うビジネスプランコンテストです。初開催となった今回は、市内外の高校生22組49人から応募がありました。当日は、事前審査を通過した15組が高校生ならではの視点を生かした斬新なビジネスプランを発表し、最終審査を行いました。審査の結果、市内産の春菊を使ったスムージーの開発を提案した宮城県古川黎明高等学校チームの「本気(マジ)春菊JK」が最優秀賞を受賞しました。本市は、若い世代の発想や挑戦が地域の活力につながることを期待し、今後も高校生の取り組みを応援していきます。



▲熱意あふれる発表を届けた高校生

陸羽東線の魅力をカメラで再発見しました

3月8日、「#陸羽東線 りくと〜フォトウォーク」を開催しました。このイベントは団体臨時列車の車内を会場に、鉄道写真家の武川 健太 氏を講師に迎え、プロの視点から見た陸羽東線の撮影ポイントやその魅力、写真の編集技術などを学ぶ講演会です。今回は、県内外から鉄道ファンや写真愛好家など約70人が参加しました。陸羽東線の愛称である「奥の細道湯けむりライン」にちなみ、参加者は「筆をカメラに持ち替えて」、車窓から広がる「大崎耕土」の田園風景や鳴子温泉の街並みなど、思い思いに撮影しました。沿線では、列車に手を振って歓迎する住民の姿も見られました。参加者は鉄道から見える景色がこれからも残り続けることを願い、次回開催に期待を寄せました。



▲講師おすすめの撮影スポットを撮る参加者



▲参加者へ感謝の花束を手渡す児童

狂犬病予防注射を忘れずに受けましょう

☎ 環境保全課環境保全担当 ☎ 6074

犬の飼い主は、年1回、飼い犬に「狂犬病予防注射」を受けさせることが法律で義務付けられています。日程などを確認し、最寄りの会場で注射を受けさせてください。詳しくは、集合注射受付票はがき(犬の登録が済んでいる飼い主に送付)または市ウェブサイトを確認してください。

集合注射

事故防止のため、会場には犬を押さえられる人が連れて来てください。また、必ずリードを付け、短く持つようにはしてください。

持ち物

- ①集合注射受付票はがき
- ※飼い主の居住地により発送時期が異なります。届いたら問診事項などを明記し、持参してください。
- ②注射費用 1頭当たり3,600円
- ③犬のふんなどを始末する用具

予防注射に来ることができない場合

近くの動物病院で予防注射を受けさせてください。注射後は、動物病院で発行された「狂犬病予防注射済証」を環境保全課または各総合支所地域振興課に持参し、注射済票の交付(手数料1頭当たり550円)を受けてください。

犬の登録について

新たに犬を飼い始めた際は、犬の登録が必要です。環境保全課または各総合支所地域振興課で手続きをしてください。登録手数料1頭当たり3,000円が必要です。集合注射会場でも手続きは可能ですが、大変混み合いますので、事前に手続きをしてください。

動物慰霊祭の開催

大崎獣医師会が亡くなったペットを追悼する大崎動物慰霊祭を開催します。

日時 4月18日(土) 11時～
場所 吉野作造記念館(築山広場)

